様式第２号

暴力団排除に関する誓約書

私は、下記のいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。下記の該当の有無を確認するために、白鷹町から役員名簿等の提出を求められたときは速やかに提出します。

また、該当役員名簿並びに若者向けアパート供給支援事業補助金交付申請書及びその添付書類に記載された情報等が山形県警察本部に提供されることについて同意します。

　暴力団の不当な要求には応じません。また、不当な要求を受けたときは、ただちに警察署へ通報（「110番通報等」）及び白鷹町に報告します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、補助金の交付決定を取り消される等の不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

□役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であること。

□暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していること。

□役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用する等していること。

□役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していること。

□役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に避難されるべき関係を有していること。

白鷹町長　佐 藤　誠 七　　殿

令和　　年　　月　　日

住　所

氏　名